

たはら歴史探訪クラブ

その6

吉胡貝塚（一）国営発掘第一号

法隆寺金堂の火災をきっかけに、昭和25年5月30日、新たに文化財保護法が公布されました。その中に学術上の価値が特に高く、国において調査すべきと認められる遺跡については、発掘調査ができるという規定が設けられました。そして昭和26年度に、調査すべき遺跡として吉胡貝塚ほか3か所が候補となりました。

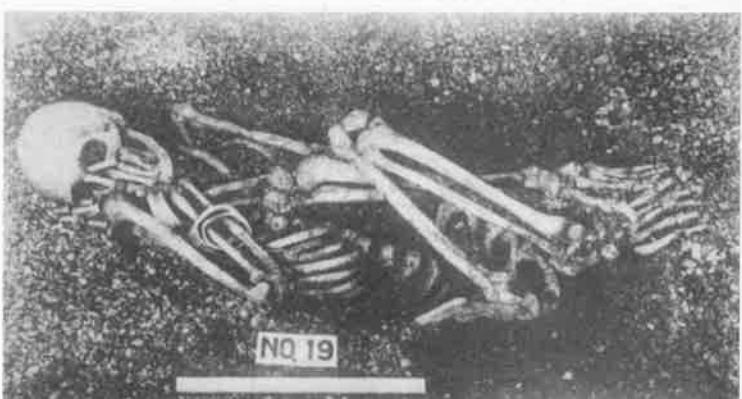
この調査は、国にとつて初めて
の試みでした。文化財保護委員会
の斎藤忠氏を中心にして慎重に進め
られ、広く専門の学者に呼びかけ
られ、明治大学教授後藤守一・東
京大学講師山内清男・南山大学教
授中山英司・名古屋大学助教授澄
田正一・地元の久永春男・国立博
物館八幡一郎氏らが参加し、當時
考えうる最高のスタッフでのぞ
みました。この時補助員として参
加した坪井清足・櫛崎彰一・大參
義一・岡本勇・吉崎昌一・稻垣晋
也・紅村弘氏ら若き精鋭たちも、
現在では考古学の権威となつてい
ます。

明し、戦時中の誤った歴史観をあらため、眞実の歴史を発見するという、国民の期待がかけられていたのでしよう。それは当時の新聞に連日報道されたことからもわかります。4月9日付け中部日本新聞の社説には『吉胡遺跡発掘の成果と今後』と題して、調査成果のほか文化財保護の必要性を強調した文が寄せられています。

考えていました。つまり、神話に支えられた歴史観が信じられていました（この歴史観は、日本の参戦を正当化するために利用されました）。吉胡貝塚の調査は、発掘という科学的な方法によって、日本人の起源にかかる縄文時代から弥生時代への移り変わりを解

た。調査の学問的ねらいは「縄文時代から弥生時代への移り変わりを明らかにする」ことでした。戦前までは、日本民族（優秀な弥生人）が九州に天孫降臨し、先住民族（縄文人）は西から次第に駆逐されたため、西ほど縄文文化は古く、東に行くほど新しい、特に東北地方は鎌倉時代まで縄文文化が残っていた、と学者ですら本気で

日本の文化財保護の記念すべき
第一歩が、この田原町で始まつた
ことは大変名誉なことです。



【人口と世帯数】

総人口	36,855人
男性	18,839人
女性	18,016人
世帯数	11,494世帯
出生	34人
転入	85人
増減	16人
死亡	19人
転出	84人

(平成13年8月1日現在・増減は7月中)

【行政面積】 82.86 km^2

【行政面積】 32.88 km²
(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)

その気品ある姿と甘い香りにより、
世界中で愛されている白ゆり。「純
潔」や「処女性」の象徴でもあること
から、今やウエディング・ブーケに
は欠かせない存在となっています。
ところで、こうしたセレモニー用
の白ゆりにはおしべがない場合があ
ります。これは花粉によって、純白
の花びらが汚れないよう取り付てし
まうからです。人間が勝手に作つた
「純潔」というイメージのために、花
としての「純潔」を奪われる白ゆり
にとつては、迷惑な話しかも。
蛇足ですが、かつてマリリン・モ
ンローが愛用したことでも有名な某
香水には、ゆりの香りがブレンドさ
れているのをご存じですか？ 清楚
とは裏腹なイメージのような気もし
ますが、これも「美」の持つミステ
リアスな一面かもしれませんね。

今月の表紙